

平成29年度第1回放課後子どもプラン運営委員会

日 時 平成29年4月24日（月）午前10時から11時半まで

場 所 小金井市役所第二庁舎801会議室

出席者 山本教育長、西田生涯学習部長

【外部委員】田中委員（委員長）、浦野委員（副委員長）、小山田委員、志波委員、佐野委員、多田委員、野崎委員、本川委員、内田委員、大久保委員

【行政委員】内田委員、菊池委員、林委員、加藤委員

富沢コーディネーター、伊藤コーディネーター、小岩コーディネーター、古源コーディネーター、森田コーディネーター、西田コーディネーター、吉田コーディネーター、伊野コーディネーター

【事務局】小堀生涯学習係長、吉楽

欠席者 永井委員、内海委員、小林委員、伏見委員、梶野委員

傍聴者 なし

【生涯学習部長】皆さん、おはようございます。本日はお忙しい中、平成29年度第1回放課後子どもプラン運営委員会にご出席いただきまして、ありがとうございます。さて早速ですが、4月1日付けで行政委員の異動がございましたので、私からご報告とご紹介をさせていただきます。これまで皆様に長年お世話になりました、前生涯学習課長の石原弘一は福祉保健部健康課長に出向し、前市民部資産税課長の内田雄介が転任となり着任しております。また、前公民館長の前島賢は福祉保健部福祉会館等担当課長に出向し、前都市整備部土地利用調整担当課長の林利俊が転任となり着任しました。

【行政委員】ただいまご紹介に預かりました、生涯学習課長の内田でございます、どうぞよろしくお願いたします。この後、委員長が決まるまでの間、司会進行を努めさせていただきます。早速でございますが、次第に従いまして進行させていただきます。始めに放課後子どもプラン運営委員委嘱状を教育長より交付いたします。任期は平成29年4月24日から平成30年3月31日までです。

【教育長】委嘱状。小金井市放課後子どもプラン運営会委員を委嘱する。期間、平成29年4月24日から平成30年3月31日まで。平成29年4月24日。小金井市教育委員会。よろしくお願いたします。

以下同文（9名）

【行政委員】ありがとうございました。次に行政職員の放課後子どもプラン運営委員会の任命を行います。行政職員は名簿の配布をもって、平成29年4月24日付けで任命とさせていただきます。それでは第1回目の開催にあたり、教育長よりご挨拶をさせていただきます。

【教育長】おはようございます。大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。また日頃から小金井市の子どもたちのために、大変ご尽力下さっていただいていることに、本当に御礼を申し上げます。私昨日と一昨日2日とも仕事がありまして、土曜日は地域の子ども会や地区委員会の主催する子ども祭り。3箇所ありましたので、愛用の自転車で子どもたちの様子を見て参りました。大変和やかに楽しく子どもたちが楽しんでいたのですが、私が凄くと思うのは、小金井市の地域の方々が、一生懸命子どもたちのために力添えいただいていることです。それから昨日はまた2つ会があって、1つは小金井市の消防署で行われたのですが、消防少年団がありまして、小学生、中学生、高校生までの方が、消防団の活動を体験的に年間通して行うことで、51名の子どもさんが参加して、盛大に進級式をやったわけです。また午後からは、障がいのある方々が、年間を通して月に2回活動するという、楽しいみんなの教室というのがあるのですが、その開級式に出席して参りました。私は小金井市に来て第一中学校の校長を5年間やった後に、2年間の空白を置いてこの立場にあるわけですが、東京都の中の色々な地域を教員として経験して、また教育委員会の職員として東京都の様々な地域で活動して参りました人間ですが、小金井市というのは、本当に地域の教育力という言葉がありますけども、恐らく23区26市の中でもトップクラスだと思っております。そういうわけで地域の方々の色々な活動に、私は敬意を表しているわけですが、この放課後子ども教室につきましても、やっぱりどの会場でも、この放課後子ども教室報告書を読ませていただきましたけども、どれを見ましても、様々なジャンルで、それぞれの力をお持ちの地域の方々が、放課後に子どもたちのために頑張っているというところに感銘を受けております。昨年も申し上げましたが、平成32年3月末までに、学童保育所と放課後子ども教室の連携を深めて、今のあり方よりも一層、全ての子ども達が安全安心に過ごせるような、そういう活動をして欲しいというふうに国の方針を述べておりますけれども、小金井市でもそれは大きな課題だと思っております。私も、子ども家庭部長と生涯学習部長と、色々話し合いを進めながら、小金井市ではどういう方向に進んだらいいかということを生懸命考えているところです。是非皆さんのお力をまたお借りしたいと思っております。また1年間、皆様のご尽力によって、小金井の子どもたちが一層幸せな時間、空間を共有できるような、そういう活動をお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【行政委員】ありがとうございました。続きまして、今年度の放課後子どもプラン運営委員の自己紹介をお願いします。

【外部委員】社会教育委員からの推薦で、運営委員を1年間担当させていただきます、小山田と申します。教育長のお話が色々ありましたが、まだ色々な課題があると思うので、是非皆さんとお話をしながら進めていけたらと思っております。よろしく願いいたします。

【外部委員】小金井市民生委員児童委員協議会から出向しております、主任児童員の浦野と申します。今教育長からお話がありましたが、放課後子ども総合プランについて、この場で色々なも

のを皆さんと共有しながら、課題解決に向けて話せる場にしたいと思っておりますので、引き続き1年間よろしくお願いいたします。

【外部委員】 青少年健全育成東部地区委員会の会長で、保護司をしております志波と申します。先ほど教育長のお話がありましたように、土曜日に東部地区で、地区委員の行事として子ども縁日を行いました。大人子ども全て含めて大体600人位参加していただきました。通常は地区委員の一員として子ども達に接しておりますが、この放課後子どもプランは多分その延長上にあるので、連携しながら色々と研究をさせていただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

【外部委員】 佐野と申します。青少年健全育成連合会から推薦されて参りました。中央地区委員会の会長をさせて頂いています。昨日ベトナムのリンちゃんに花を手向けて参りました。同じような環境の中で活動させていただいている1人として、これからどういうふうに子ども達に信頼をされる活動ができるのか、非常に悩んでいる昨今でございます。この1年間を通して、子ども達が本当に、「ああ、あのおじちゃん信用がおけるおじちゃんだな」と言われるように頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

【外部委員】 多田と申します。小金井市子ども会育成連合会から参りました。そちらでは今中高生のジュニアリーダーというところで、子ども達とも関わっております。前原小の安全管理委員として、近くのおばちゃんとして携わっております。子どもたちの安全な環境を作りたいと思、お手伝いできればと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

【外部委員】 野崎と申します。小金井市子ども会育成連合会で役員をしております。放課後子どもプランは全く初めての参加になります。1年間勉強させていただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

【外部委員】 本川と申します。推薦母体は国際ソロプチミスト東京ー小金井という、国際組織の女性の奉仕団体でございます。女性ということに目標は置いておりますけれども、お母さん、また子ども達を、大変大事にさせて頂いている団体でございます。国際ソロプチミスト東京ー小金井は、青少年のための科学の祭典の事務局という形で、協力させて頂いております。子育ては学校、社会、家庭という、3つのトライアングルでいくのがいいのではないかとこのように常々思っておりますので、良い環境を皆で作って上げて、次世代を担う子ども達を大切に育て、小金井の教育力を上げたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【外部委員】 田中兄一と申します。皆で作る野川ビオトープの会を組織して会長を務めております。この団体は夏の河川月間に合わせて、東京都の建設事務所、北多摩南部建設事務所と提携しまして、夏休みの第一土曜日に、毎年昆虫観察会というのをやっております。東京都と連携を行うのは初めての事だったということで、かつては河川協会からの表彰等も受けましたが、この催しには二中の生徒が参加していただく等、地域との結びつきが非常に強く、15回位催しを行っている組織でございますが、普段は第一調整池という所にありますどじょう池の管理運営をやっています。よろしくお願いいたします。

【外部委員】小金井市立小中学校PTA連合会から来ました、内田と申します。今年2年目になります。私は学童保育に子どもを2人預け、大変お世話になりました。今回連携ということで、学童保育の保護者が求めているもの、それから放課後子ども教室のスタッフとしても関わっておりますので、それ以外の子ども、保護者が抱えているもの、その双方の経験から、双方にとってより良いものになるようにお役に立てればと思いますので、よろしく願いいたします。

【外部委員】小金井市立小中学校PTA連合会から参りました大久保と申します。28年度P連会長で、P連理事総会に向けて準備しているところです。先程お話が出たように、PTAとしては心折れるようなショッキングな出来事がありましたが、そういうことに負けないように、皆で結束して頑張れるような、そんな総会になるように頑張ろうと思います。今年はPTAだけではなく、二小の推進委員会のコーディネーターも兼ねており、放課後子ども教室に関わっております。そういう観点から、子ども達の放課後や、安全安心に過ごせるという観点で関わりたいと思います。よろしく願いいたします。

【行政委員】ありがとうございました。続きまして、行政側の体制をご紹介します。行政部門でこの事業を総括的に担当いたします、生涯学習部長の西田です。

【生涯学習部長】西田です。よろしく願いいたします。

【行政委員】生涯学習課でこの事業の事務全般を担当いたします内田です。よろしく願いいたします。事務局を担当いたします小堀、吉楽です。

【小堀】小堀です。よろしく願いいたします。

【吉楽】吉楽です。よろしく願いいたします。

【行政委員】続きまして、コーディネーターの紹介をさせていただきます。コーディネーターの役割でございますが、本市としては学校、地域、家庭や、関係機関との連絡調整などの繋ぎ役として、また新たな活動の企画立案の支援、活動の調整役として、お願いしております。平成25年度から1小学校区につき、1人のコーディネーターをお願いしてございます。コーディネーターの方から一言ご挨拶をお願いいたします。

【コーディネーター】一小の富沢です。子ども達の為に今年も頑張らせていただきます。宜しく願い致します。

【コーディネーター】今年度から三小の伊藤と申します。昨年度はコーディネーター代理で1年間この会議に参加させていただきました。児童や保護者の方の生の声というか、そういう目線でこの会議に参加できたらいいなと思います。よろしく願いします。

【コーディネーター】四小の小岩と申します。今年度で立ち上げから10年になります。四小に関してはやっと軌道に乗ってきたと感じる中でも、放課後子ども教室という点から見ると、多々問題点を取り残されたままであると思っているので、今年ぜひ有意義な運営委員会で討議していただけたらと思います。よろしく願いいたします。

【コーディネーター】東小の古源と申します。子どもたちの居場所のため週に4回教室を開催しております。各学校での充実と共に、全市としても推進していけるように皆様のお力を借りて進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【コーディネーター】前原小学校の森田と申します。今年も子どもたちのために、できるときにできることを、精一杯やって行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【コーディネーター】本町小の西田と申します。今年でコーディネーター5年目になります。本町小学校は、今まで木曜日に英語教室、金曜日に放課後子ども教室として、工作ですとか自由遊びをやっていましたが、昨年から水曜日に放課後図書室ということで、新しく学習サポートにも少し力を入れるような教室を開催しました。ますます今年も充実させていくべく頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【コーディネーター】緑小の吉田と申します。是非運営委員の皆様にも、各学校でやっている教室に足を運んでいただいて、見学をしていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【コーディネーター】南小の伊野と申します。私も南小放課後子ども教室立ち上げ当初から関わらせて参りましたが、軌道に乗ってきたといっても毎年色々な問題や課題等が出てきております。運営委員やコーディネーターの皆様と一緒に、そういうものを解決していけたらと思います。本年もよろしくお願いいたします。

【行政委員】ありがとうございます。コーディネーターの9名の方には、今後も運営委員会にオブザーバーとしてご出席いただき、運営等にご協力いただきます。続いて、その他の行政委員の自己紹介をさせていただきます。

【行政委員】こんにちは。図書館長の菊池と申します。2年目になります。よろしくお願いいたします。

【行政委員】こんにちは。公民館長を4月1日に拝命いたしました林と申します。前職は都市整備部の土地利用調整担当でございます。一からのスタートとなりますので、どうかよろしくお願いいたします。

【行政委員】庶務課長の加藤と申します。よろしくお願いいたします。直接関係はないかもしれませんが、この運営委員会がより良いものになるようにしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【行政委員】本日欠席させて頂いておりますが、指導室長の小林と、児童青少年課長の伏見と、子育て支援課長の梶野が、行政側の体制となっております。以上で紹介を終わらせていただきます。それでは議事に移りたいと思っております。まず始めに、小金井市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱第5条第2項により、委員長の互選を行いたいと思っております。委員長選出までの間、仮の委員長を生涯学習部長にお願いします。

【生涯学習部長】それでは委員長選出までの間、仮の委員長、座長として議事進行を進めさせていただきますので、宜しくお願ひ致します。着座にて失礼いたします。直ちに議事に入ります。議題は委員長の互選についてでございます。委員長の互選については小金井市放課後子どもプラ

ン運営委員会設置要綱第5条第2項に、委員の中から互選するとなっています。選出の方法ですが、立候補または推薦による方法で行いたいと思います。どなたか立候補、または推薦される方はいらっしゃいませんか。

【外部委員】推薦ですけども、引き続き田中委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【生涯学習部長】只今田中委員を委員長に推薦するのご発言がございましたが、お諮りいたします。田中委員を委員長にすることにご異議ございませんか。

【一同】異議なし。

【生涯学習部長】異議なしと認めます。田中委員に委員長をお願いしたいと思います。それではここで委員長にバトンタッチをさせていただきたいと思います。では委員長、お願いいたします。

【委員長】只今委員長を仰せつかりました田中でございます。代わり映えのしない顔ですが、小金井の放課後子どもプランのより充実のために、1年間努力して参りたいと思います。よろしくどうぞ。本日教育長と部長は他に所用がございますので、この場をもって退席とさせていただきます。ありがとうございました。それでは議事に従いまして、次に副委員長の選任ということになります。どなたかご推薦される方はございますか。ないようでしたら、私の方から、前年に引き続き浦野委員を副委員長に指名したいと思います。ご異議ございませんか。

【一同】異議なし。

【委員長】では一言お願いします。

【副委員長】浦野でございます。昨年に引き続き副委員長ということで、この場を放課後子どもプランの推進のための有意義な時間の運営委員会にしたいと思っておりますので、田中委員長をサポートし、皆様のご協力を得ながら、進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【委員長】ありがとうございました。それではお手元にある次第に従って議事を進めて参りたいと思っております。2番(2)、平成29年度小金井市放課後子ども教室の概要について。

【行政委員】お手元に配布させていただきました資料の説明から致します。資料1は平成29年度放課後子どもプラン運営委員会及びコーディネーター名簿でございます。続きまして資料2、平成29年度小金井市放課後子ども教室について。これは放課後子ども教室の基本的な考えをまとめたものです。続きまして資料3、小金井市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱です。資料4、小金井市放課後子どもプラン事業実施要綱です。資料5、A3版で、平成29年度実施計画書でございます。それでは事業の説明に入りたいと思っております。資料2をご覧ください。平成29年度小金井市放課後子ども教室についてでございます。1、放課後子どもプランの創設。放課後子どもプランは、近年子どもが犠牲となる犯罪、凶悪事件が相次いで発生し、社会問題化したことや、子どもを取り巻く家庭や地域の教育力の低下が指摘される中、平成18年5月当時の、少子化担当大臣から文部科学省と厚生労働省が連携した新たな取り組みとして、放課後子どもプランの創設が発表されました。これは地域社会の中で放課後に子どもたちの安全で安心な居場所作りを推進する為、市町村において教育委員会が主導して、福祉部局と連携し、原則として全小学

校区において、文部科学省放課後子ども教室推進事業と、厚生労働省放課後児童健全育成事業を一体的あるいは連携して実施する、総合的な放課後対策事業、放課後子どもプランを推進することを求めています。これは文部科学省の放課後子ども教室の事業目的でございます、全ての子どもを対象として、放課後や週末等に、小学校の余裕教室等を活用し、安全安心な子どもの活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する、としています。続きまして2番、これまでの放課後対策でございますが、小金井市の放課後対策事業は、平成14年度に公立学校が完全に5日制になったところから始まっております。平成16年度から地域子ども教室が始まりまして、平成19年度からは放課後子ども教室として、各小学校区単位で事業を進めております。続きまして3番、小金井の体制における概要ですが、放課後子どもプランの考え方と、小金井市の基本的な考え方は、地域の子どものは地域で見ることであり、基本的に合致するものであります。この事は子どもたちにとっても、地域の様々な大人と触れ合うことや、異学年の子どもと交流することにより、体験を豊富化させ、多様な価値観に触れることで、成長の糧とするものです。4番、平成29年度小金井市の体制の概略ですが、小金井市の放課後子どもプランの推進組織として、事業全体の計画検証等を統括する本運営委員会と、放課後子ども教室の事業を各小学校区で円滑に進めるため、事業運営を小金井市放課後子ども教室実行委員会に委託します。この組織は運営委員長、副委員長他、コーディネーターの方で組織されております。コーディネーターの方々には、学校、保護者、地域を繋ぐ調整役としての役目をお願いしております。またスタッフやコーディネーターのスキルアップ等を目指して、今年度も研修会や講座を東京都教育庁及び小金井市教育委員会で開催する予定です。5番の各小学校区の体制の概略ですが、各小学校区での運営体制が記載されております。平成28年度は学習アドバイザー、安全管理員、無償ボランティアの方、延べ4、137人の協力の下で運営していただいております。放課後子ども教室事業を実施するためには、子どもを見守る安全管理委員等のボランティアスタッフの連携協力が必要不可欠でございます。保護者や町会自治会や地域の団体の皆様に、本事業の趣旨をご理解いただき、本事業にご参加いただきますよう、ご協力方よろしくお願いたします。平成29年度の事業につきましては、9小学校区等で事業を予定しており、学習アドバイザー延べ667人、安全管理委員延べ3、357人のご協力をいただきながら、この事業を進めて行く予定です。以上で平成29年度の放課後子ども教室の説明を終わります。続きまして資料3、小金井市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱で、委員会の目的、所掌、組織などを定めております。後ほどご覧下さい。続きまして資料4、小金井市放課後子どもプラン事業実施要綱で、事業に関する基本的な事項等を定めております。こちらも後ほどご覧下さい。最後に平成29年度予算ですが、事業の総予算額は、1、097万6千円でございます。前年度と比較すると5千円の増となりました。内訳としまして、報償費が177万3千円。需用費が4万8千円。役務費が25万3千円です。保険料は、放課後子ども教室に参加する子どもたちの傷害保険と、放課後子ども教室を運営するスタッフ等の傷害保険と賠償保険でご

ざいます。事業費の関係では、放課後子ども教室運営委託料が890万2千円となっています。委託についてですが、小金井市放課後子ども教室実行委員会に事業を委託し、事業の円滑な運営をお願いしてございます。各小学校区への予算の割り振りにつきましては、各小学校区から提出された計画書を基に、実行委員会との協議の上作成しまして、平成28年度第6回放課後子ども教室運営委員会でご承認を賜ったものです。以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

【委員長】ありがとうございます。次第にはその他となっております。今日の議論の他に、もっと時間が必要だという場合は、次回30分程早めまして、第2回の運営委員会を9時半から始めるような段取りで、本日の議論を進めたいと思いますが、いかがでしょうか。それではまず運営委員会の積み残し等ございますので、皆様のご発言をいただければと思います。

【事務局】今日配布させて頂いた資料の説明をさせていただきます。まずA3の資料5、平成29年度放課後子ども教室予算につきまして、左上の平成27年度の実績額から右に沿って、平成28年度実績額、平成29年度要望額、平成29年度確定額と、順番に載せてあります。左下の平成27年度実績が、合計回数751回。学習アドバイザー延べ人数741人。安全管理員延べ人数2、878人。消耗品費64万5、766円。合計803万2、396円。執行率が90%です。28年度の実績額が、合計回数822回。学習アドバイザー652人。安全管理員延べ3、206人。消耗品費60万965円。合計844万4、375円で、執行率が95%です。平成29年度の要望額が、延べ回数930回、学習アドバイザー延べ775人。安全管理委員3、818人。消耗品費76万1、805円。合計1、009万9、215円。これを調整した数字が、平成29年度の確定額で、延べ回数832回、学習アドバイザー延べ667人、安全管理員3、357人、消耗品費72万4、045円。合計890万円2千円です。前年度運営委員会承認を頂いた数字ですので、29年度はこの予定で事業を執行して行く予定です。続きまして、資料7の説明をさせていただきます。お手元に、資料7、「放課後子ども総合プラン」について、を配布しましたが、今後市の課題である、放課後子ども総合プラン、一体型もしくは連携型について、平成26年7月31日付けで、文部科学省と厚生労働省が連名で作った文章です。タイトルが、「放課後子ども総合プラン」について、です。3ページ1、趣旨・目的について、共働き家庭等の小1の壁を打破すると共に、時代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後等を安全安心に過ごし、多様な体験活動を行うことができるよう、文部科学省と厚生労働省が協力し、一体型を中心とした放課後児童クラブと放課後子ども教室の計画的な整備等を進める、とあります。2、国全体の目標として、全ての児童の安全安心な居場所を確保するために、一体型を中心に平成31年度までに放課後児童クラブ約30万人分を新たに設置し、全ての小学校区で放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的又は連携して実施し、うち一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を1万箇所以上で実施することを目指す、とあります。3、事業計画。全ての児童の安全安心な居場所づくりの観点から、小学校の余裕教室等の活用や、教育と福祉の連携方策等について検討しつつ、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を計画的に整備していくこ

とが必要です、と。その3行下に、本年秋に策定予定の新たな行動計画策定指針に記載し、市町村は行動計画策定指針に即し、(1)に掲げる内容について、市町村行動計画に盛り込むこととする、とあります。こちらは26年度の文章なので、26年秋策定の新たな行動計画策定指針というのが、子育て支援課で取りまとめている、のびゆくこどもプラン小金井です。その(1)に掲げる内容が、次の4ページ(1)、市町村行動計画に盛り込むべき内容。これが、放課後児童クラブの平成31年度に達成されるべき目標事業量。一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の平成31年度に達成されるべき目標事業量。放課後子ども教室の平成31年度までの整備計画。放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の一体的な又は連携による実施に関する具体的な方策。小学校の余裕教室等の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室での活用に関する具体的な方策。放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の実施に係る教育委員会と福祉部局の具体的な連携に関する方策。地域の実情に応じた放課後児童クラブの開所時間の延長に係る取組等、と7項目あります。次に4番、市町村の体制、役割等として、運営委員会の設置が挙げられています。5ページ、5番の都道府県の体制役割等は省かせて頂きます。6番、市町村の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の実施。こちらで、(1)学校施設を活用した放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の実施促進。この中で学校施設の活用にあたっての責任体制の明確化と、6ページ、余裕教室の活用促進と、放課後等における学校施設の一時的な利用の促進が挙げられています。7ページ(2)、一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の実施として、一体型の考え方や留意点が載っています。8ページ(3)、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の連携による実施が挙げられています。次に9ページ(4)、学校、家庭と放課後児童クラブ及び放課後子ども教室との密接な連携。(5)民間サービスを活用した多様なニーズへの対応。10ページの7番、総合教育会議の活用による総合的な放課後対策の検討。8番、市町村等の取り組みに対する支援、ということが挙げられています。11ページで終わりですが、その次に、14ページの資料が添付されていますが、これが先程4ページ(1)、市町村行動計画に盛り込むべき内容の7項目が示されましたが、今回市町村行動計画、のびゆくこどもプラン小金井の29年3月改定のタイミングに合わせて、児童青少年課と生涯学習課で載せた内容です。こちらの4ページと14ページを見比べながら聞いて頂きたいんですが、4ページ(1)の1つめ、放課後児童クラブの平成31年度の達成されるべき目標内容が、14ページの量の見込みと確保の内容に、こちら27年度から31年度までの表が載っているんですが、こちらが810人という数字が挙げられています。2つめの、一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の31年度の達成されるべき目標事業量として、14ページの放課後子ども総合プラン事業の量の見込と確保の内容としまして、29年度から31年度にかけて、一体型を6か所、連携型を3か所整備するという目標になります。3つめ、放課後子ども教室の、平成31年度までの整備計画としては、小金井市では放課後子ども教室を全9校全て実施しておりますので載せておりません。4つめ、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の一体的な又は連携に関する具体的な方策として、14ページの確保の方針として、一体型放課後子ども教室の共通プログラムの企画段階から学童保育所の指導員と放課後子ども教室のコーディネー

ターが連携して内容を検討できるよう、小学校区毎に放課後子どもプラン協議会を設置します。連携型の教室のプログラムを実施する場合は、プログラム終了後に安全に児童が移動できるよう、両事業の連絡、情報交換を密にします、という目標を立てました。5つめ、小学校の余裕教室等の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室への活用に関する具体的な方策としましては、放課後子どもプラン運営委員会や、小学校区ごとの協議会において、学校施設の活用状況を定期的に協議し、使用計画を策定します。6つめ、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の実施に係る教育委員会と福祉部局の具体的な連携に関する方策としましては、放課後子どもプランの担当者が個別に各小学校区を訪問し、学校関係者の話合う機会を持ち、放課後子どもプランの必要性、意義等について説明を行い、理解を促します。一体型放課後子ども教室実施にあたっては、特別教室、体育館、校庭、図書室等、学校施設の一時利用を促進します。放課後子ども教室の実施に当たる責任体制を明確化していきます。総合教育会議では、総合的な放課後対策について協議をします、と載せました。あと、以前パブリックコメントの意見として、各用語の意味がわかりづらいということで、注の中に一体型、連携型、放課後子どもプラン協議会、共通プログラム、放課後子どもプラン運営委員会、総合教育会議の解説を載せました。以上でこちらの資料の説明を終わります。

【委員長】ありがとうございます。文科省厚労省から共同で方針が示されたわけですが、小金井市としてはこれを受けてどんな展開を図ってきたんですか。例えば協議会を設けるといっても、今まで全然出てこなかった。小金井市教育委員会の方針、考え方について、お話を伺うことができますか。

【事務局】今各小学校区で推進委員会という会議がありまして、私どもの方ではそちらに新たに学校関係者、学童の指導員等をお招きして、そこで3者の連携した内容に関する会議を想定しています。

【外部委員】協議会は推進委員会が主導を取らなければならない形だと、各推進委員会にとってかなり負担感があります。

【外部委員】児童青少年課の方がいらしていないが、一体型、連携型というのはとても大切だと思いますが、児童青少年課、学童と一体化というのをどこまで望むか、明確なところは示して頂けるのか。

【事務局】今後検討していく予定です。

【外部委員】運営委員会は6回しかありませんので、次回示していただけるとありがたいです。

【外部委員】学童との一体化は平成31年度までに進めようとしているが、今年是小金井市としてはどこまで進めようとしているのか、その目標がよくわからない。

【委員長】行政から方針が出ない。ここは運営委員会で、方針を審議する審議会ではない。教育委員会が連携ということを受けて、特にどういう方針を持って今年度を望むのか。それに基づいて運営委員会は議論し、コーディネーターはそれに基づいて実施に移す。今はバラバラの状況。

【外部委員】一体化していくに当たり、学童と放課後の認識がどの程度か。お互い違うのではないか。同じ土俵に乗せないと中々前に進まないのではないか。

【委員長】形態としても、学童は給料をもらっている職員。放課後は、若干の手当はもらっているがボランティア、そういう点の違い。それからそこに基づく、自分の立場を守るという姿勢がかなり強い。放課後は後から参入し、残った方の受け皿みたいな形で今まで進めてきた。それが一体化という方向が出て、それをどのようにしたら上手く子どもの為に一体的な運用ができるのか、是非お願いしたい。

【外部委員】のびゆくこどもプランで、一応平成31年度までに連携型と一体型をどうするかという数字が出ましたが、具体的な内容が示されていないので、できるだけ具体的に示して頂きたい。それと生涯学習課と児童青少年課が話し合っている内容について、運営委員会にフィードバックしていただきたい。双方色々キャッチボールしながら、ゴールは31年だが、年度毎の見通しに沿って検討しなければいけないので、今年度の運営委員会では是非お願いしたい。

【外部委員】放課後子どもプランの協議会に学童関係者とありますが、どこまでが関係者なのか。指導員のみか。今正規の指導員は非常に少なくなっていますし、民間に委託されているところは市の正規職員がいないので、その方々も含めるのか。あと学童連絡協議会、保護者の団体もありますので、是非そういう団体も入れていただき、学童保育関係者ということで、より広い方々の意見、指導する立場の方、保護者の立場も加え、協議会を構成していただきたい。

【外部委員】資料7の15ページに、運営委員会で小学校区の協議会では学校の活用状況を定期的に協議し使用計画を策定します、とありますので、今年度の6回の会議の中で、計画としてどういう風な話し合いをしていくのかという計画をまずお示しいただき、それに必要な資料や、調査が必要なら私達が用意して協議していくという、計画的に進めるべきではないか。

【コーディネーター】協議会を持つに当たり、誰が協議会を開催するか明確にしていきたい。推進委員会としては、推進委員会の中に関係者をお呼びするという場当たりの事では困ります。設定事項をはっきりさせた上での協議会にしていきたい。それから実行委員は、年度内は放課後子ども教室の推進をしながら、来年度以降の総合プランの目標や移行を考えなければなりませんので、この場での議論を深めていただきたい。

【コーディネーター】本気度は予算かと思えます。

【コーディネーター】協議会、一体型、連携型について、大きい青写真、まずどういう形を目指すか話し合い、目標を定め、微調整をしていくという方針でやっていただきたい。具体的なところが全く見えない。具体的スケジュールを検討した上で詰めていただきたい。

【コーディネーター】緑小は学童が離れているので連携型、更に学童は委託しています。その状況で、今私達はこの場で、以前から連携型、一体型という話を聞いていますが、学童には放課後子ども教室と連携していこうという話が行われていないのではないかと。また、委託なので実際現場で決められないことがとても多い。その辺りも今後の検討課題。

【コーディネーター】放課後子ども教室は毎年課題や問題がたくさんあり、その中で学童との連携となると、もっと人手が必要だったり、不安もあります。その中で私達も最低限の中でやっていますので、このままだとますます続けてくれる人がいなくなってしまうのではないかという不安があります。もっと協議して、私達が安心できるように進めていただきたい。

【外部委員】一体型、連携型という言葉がまず出てますが、この言葉にとらわれると、各学校区で状況が違うので難しいところがあるのではないかと。最終的にはどういう方向に行きたいのかを決めないと話が進まない。決めた上での具体的なところを、各推進委員会での放課後子どもプラン協議会という形になるのが望ましい。例えば大体の方向性、方針は、教育委員会から出てくるべきかと思いますが、最終的に子どもたちが安全安心で、責任を持つ部分と、やはり私たちはボランティアなので負担をかけてはならない部分もある。そこを上手くより分けながら、また連携の話が出ていますが、例えば子どもが移動するために気を遣うこと。必要なことですが、そこに気を遣うばかりにボランティアの負担が増えてしまうということは問題です。何が大切で何をすべきか、きちんとより分けていくべきではないか。放課後子ども教室に学童と同じことを望まれても困りますし、学童の方でも、何をやりたくて放課後に話を持ってきたのか、よく話をより分けてもらえればと思います。

【委員長】この問題は非常に時間を取られる議題なので、今回は特別に9時半から始めたいが、いかがでしょうか。2ヶ月ありますから、児童青少年課との調整の報告も受けながらこの問題を議論して参りたいと思います。

【事務局】最後に、放課後子ども教室の各教室のチラシを配布しました。各教室の内容が詰まっていますので、参考になさってください。また第6回放課後子どもプラン運営委員会会議録を配布しました。こちらは前年度の出席者の修正を反映したものを配布しましたので、ご承認をいただければ近日中にホームページで公開いたします。ご承認を宜しくお願い致します。

【委員長】会議録をホームページに載せることはOKということでしょうか。ありがとうございます。それではこれをもって第1回の運営委員会を終了します。